

平和の鐘の集い 2017

核兵器廃絶・平和へ

世界市民の連帯と体験継承を訴え、鐘を打鐘



平和の鐘の集い 2017 が、今年も 8 月 15 日、広島平和記念公園の「平和の鐘」の鐘楼前広場で開かれました。

昨夜来の雨も上がった午前 11 時半過ぎ、最初に亀井章広ユ協会長が開会挨拶、続いてワールドフレンドシップセンターのバーバラ・シェンク館長、ラオスからの広島市研修生、アルーン・フェングマニーさん、大邱ユネスコ協会の南相杰会長（代読）、広島大学付属高校 2 年ユネスコ班の齊藤優奈さん（16）、目崎七海さん（17）、第 20 代高校生平和大使・久永風音さん（広島県立皆美高校 3 年=17）が、それぞれ平和スピーチ。このあと正午を期して黙祷し、戦争犠牲者の冥福と平和実現を心から祈りました。

続いてノートルダム清心中・高校合唱部（指揮・門野光伸先生）による平和

の歌「いつくしみふかき」「ごらんよ空の鳥」が合唱され、「ユネスコ憲章前文」「わたしの平和宣言」を全員で唱和、最後に「平和の鐘」を打鐘しました。大判の色紙には、たくさんの方々から決意を込めた署名が寄せられました。

この集いは、ユネスコが提唱した「平和の国際文化年」の活動の一環として、2000年から毎年、戦争や紛争等のない21世紀を願って、広島から平和の声を鐘に込めて発信しているものです。全国の多くのユ協も協力・実施しています。今年も無事終了することができ、被爆者を初め多くの戦争犠牲者のご冥福を祈るとともに、二度と戦争を起こしてはならないという連帯と共存・継承の誓いをさせていただきました。







暑い中、参加頂いた高校生代表の皆様をはじめ市民の方々、進行に努めて頂いた協会役員の皆様、本当にありがとうございました。お疲れ様でした。